

# 楽しく学んだ 矢祭子ども司書講座

～ 第2期子ども司書講座の受講生の声をご紹介します ～

## ◇◇◇ 小学四年生 女子 ◇◇◇

私が一番楽しかった講座は、視察研修旅行です。理由は、第一期生と楽しく行けたことと、福島県立図書館で利用カードを作って本を借りたり、プラネタリウムを見て楽しんだり、美術館見学をしてうれしかったからです。

子ども司書講座を受けてから、私は、自分が変わってきたことに気がつきました。それは、文の多い本を読み始めたことです。以前は、文の少ない本ばかり読んでいました。子ども司書受講生になってからは、文の多い本も読むようになりました。読めば読むほどおもしろくなってきました。そしていろいろな本を読みたくてきました。これからもたくさんの本に出会いたいと思います。私には、第一期矢祭子ども司書の認定を受けたお兄ちゃんがあります。図書館から借りた本をいっしょに読みたいです。

最後に、子ども司書になったら、図書館のおはなし会に参加して、図書館のエプロンをして読み聞かせをやりたいです。

## ◇◇◇ 小学五年生 女子 ◇◇◇

私が、矢祭子ども司書を通じて知ったことは、本を読むことと、みんなに本の内容を伝えることの楽しさです。

私は今五年生ですが、小学四年生までは、本を読むということが苦手というよりもきらいでした。子ども司書講座に入り、本を読むことがふえて、学校以外で楽しみが増えたと思います。

実際、私が一年を通じて司書の十三単位取れるとは思いませんでした。私は人見知りをしてしまい、人と話すことが苦手なので、子ども司書はだいじょうぶかなと不安でした。でもせんぱいやこうはいのみんなと友達になれば、すぐに仲良くなれました。

福島市の図書館に研修旅行に行ったこと。館山ランドでみんなで俳句作りをしたこと。思っていた以上に楽しいことばかりでした。

全講座には出ることができませんでしたが、来年度もできたら参加したいです。新しいじゅ講生が来るのが待ち遠しいです。最後に、この一年子ども司書講座でお世話してくれた人々に感謝したいです。

「ありがとうございました。」

## ◇◇◇ 小学六年生 女子 ◇◇◇

私は、子ども司書講座の活動を通して、たくさんのことを学ぶことができました。

その中でも、一番心に残ったことは「ジュニア俳句スクール」です。一回目は、六月に館山ランドで行われました。それまでは、俳句は、五・七・五に言葉を並べればよいとしか思っていませんでした。でも、先生の話聞き、「季語」を入れて作ることを学びました。二回目に、矢祭山友情の森で行われたときは、秋の自然がとても美しい時でした。森の中に入ると、気持ちがすうっとおだやかになりました。いろいろな植物を見ているうちに、自然に言葉がわいてきて、作品を作ることができました。そして俳句が好きになりました。

これまでの活動で学んだことをいかして、学校の図書館の本の分類や整理をしたり、もっとたくさん本を読んだりしていきたいです。